

平成 30 年度 第 1・2・3 回 合同番組審議会 議事録

1 開催年月日

平成 30 年 9 月 13 日（木） 午前 11 時～午後 0 時 30 分ごろ

2 開催場所

砺波市太郎丸 2-129 北日本新聞社砺波支社 会議室

3 委員の出席

委員総数 5 名

出席委員数 5 名

出席委員の氏名（◎委員長）

- ◎ 飯田 敏雄 (89 歳、男、元砺波市文化協会会長)
- 西森 昭治 (45 歳、男、元砺波商工会議所青年部会長)
- 小幡 豊 (69 歳、男、砺波市文化会館館長)
- 河合 要子 (52 歳、女、KO・RA・RE 代表)
- 石村 修子 (39 歳、女、千華園勤務、グリーンアドバイザー)

放送事業者側出席者名

- 河合 常晴 (株式会社エフエムとなみ 代表取締役社長)
- 古井 裕人 (株式会社エフエムとなみ 取締役業務部長)
- 高信 静枝 (株式会社エフエムとなみ 放送課長)

4 協議事項

1. 放送番組に対する評価

《対象番組》

・お茶の間トーク

毎週ゲストを迎えて様々な話を伺う 1 時間のトーク番組。

今回は、古民家を再生し砺波市初のゲストハウス「すどまりとなみ」をオープンした川向実さんに、ゲストハウスオープンまでの苦労やお客様の反応などを伺った。

(進行：前田けいこ)

・スクールキャスターズ

砺波地域の中学・高校の放送部・演劇部が制作する 15 分番組。

放送部員がパーソナリティーを務めて学校生活を紹介する企画や、演劇部による朗読

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

劇、ラジオドラマなどを放送している。

今回は、砺波高校放送部の回と、福岡高校放送部の回を取上げる。

- ・スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド特集コーナー

毎週月曜から金曜の生放送番組「HAPPY SHOWER」(11:00~13:00)内で特集した、ワールドミュージックの祭典「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド」を紹介するコーナー。出演アーティストやワークショップ参加者へのインタビューで構成した。

2. 10月改編に対するアドバイス

3. その他

5 議事の概要

社長、委員長の挨拶に続き、協議へ。3つの番組に対しての感想やご意見をいただいた。

また、その後は、10月改編や災害時の対策などについて意見交換を行った。

6 審議内容 (各委員の発言を要約して箇条書きで記載)

【小幡副委員長】

- ・「お茶の間トーク」について

ゲストの話し方も活動も好感が持てる。リラックスして話しているが、活動内容には驚きを感じた。1時間というのは長いようにも感じるが、ゲストによっては短く感じるかもしれない。地元で頑張っている人、人生を楽しんでいる人を紹介しているところがいい。

- ・「スクールキャスターズ」について

高校生ならではの話が聴けるのは貴重な機会。今の学生の考え方を知りたいと思った。社会情勢をいろいろなテーマで、感性で取り上げてもらいたい。

- ・「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド」特集コーナー」について

イベントの雰囲気が伝わってきた。

民族楽器などワールドミュージックならではの紹介がもう少し詳しくてもよかった。

【河合委員】

- ・「お茶の間トーク」について

1時間というのが長くも感じられるが、ゲストとのやり取りは聴きやすかった。

スタジオではなく、現地で話をするのもより雰囲気が伝わっていいのではないかと。

- ・「スクールキャスターズ」について

学生とは思えず話もうまかった。本音・建前・自分自身の意見をきちんと分けて伝えようとしていてよかった。

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

- ・「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド特集コーナー」について

BGMも雰囲気を作っていて、イベントに参加している気分になれた。海外アーティストのインタビューでは、通訳も入っていて分かりやすかった。

【西森委員】

- ・「お茶の間トーク」について

ゲストが話題豊富で、人柄や生い立ち、ゲストハウスの目的、これからの目標など分かりやすかった。地域にこういう人がいることを知れてよかった。

- ・「スクールキャスターズ」について

学校生活が伝わってきた。夏休みの課題のことなど、詳しく話していて分かりやすかった。学生にこういった機会を提供するのはいい。今後の人生の役に立つのではないかな。

- ・「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド特集コーナー」について

会場の音から雰囲気が伝わってきた。インタビュー内容も、通訳も分かりやすかった。

【石村委員】

- ・「お茶の間トーク」について

ゲストの人柄が伝わってきた。聞き手もそれをうまく引き出していた。

1時間というのは少し長く感じた。自分だったらそれだけ話ができるか考えてしまった。

- ・「スクールキャスターズ」について

今の学生の実情が面白かった。学校ではなく局のスタジオで収録したら雰囲気は変わるだろうか？聴いてみたい気がした。

- ・「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド特集コーナー」について

子どもへのインタビューでの言葉遣いはもっとくだけでもいいのではないかな。

民族楽器、太鼓の音をもっと聞きたかった。

【飯田委員長】

- ・「お茶の間トーク」について

ゲストの気持ちをうまく引き出していてよかった。

ゲストハウスの仕組み、経営のこと、自治体からの補助のことなど、もう少し詳しい説明があってもよかった。

- ・「スクールキャスターズ」について

今の高校生が何を考えているのか大人は知りたい。こういう番組で高校生の考えを紹介して

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

もらえるといい。

- ・「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド特集コーナー」について
子どもの演奏する音、プロの演奏する音など、音だけのラジオだからこそ音の魅力をもっと伝えてほしい。
 - ・10月改編について
地域の学生の活動、運動部だけでなく文化部の活動も取り上げてほしい。学生への広報、ラジオを聴いてもらう仕組みも考えてほしい。
災害時の放送では、高齢者の避難方法など災害弱者への対応も考えてほしい。
- 7 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日
平成30年9月14日付北日本新聞朝刊に記事を掲載した。FMとなみのHP上でも公開。

以上

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------